

蘆花会通信

第3号

2022年(令和4年)8月15日

特定非営利活動法人

蘆花会

発行人 佐久間 保明
編集人 布川 純子
石井 貴子

<https://www.rokakai.com/>

愛子忌は初のオンライン集會

2022年2月の愛子忌の集いは初めてオンラインでの開催となりました。これは昨年開催すべき蘆花忌での講演会が荒天により中止になったことの結果です。講演者である近藤恒雄氏のご承諾を得ての苦肉の策でした。新型コロナウイルスのため氏には予想外の選択となったとは言え、幸いにもなごやかな雰囲気で終了しました。近藤氏をはじめ参加者の皆さまに心より御礼申し上げます。

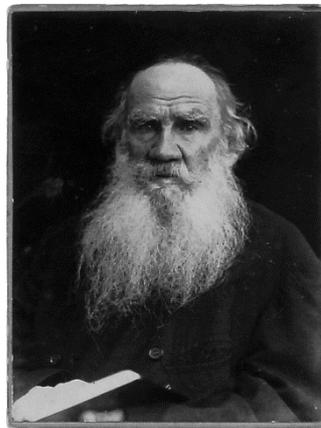
世間では地球規模のウイルス蔓延により落ち着かない日々が続いてきましたが、2月下旬にはロシアによるウクライナへの軍事侵攻という新たな事態が発生しま

した。二度の大戦を経た21世紀において19世紀帝国主義ふうな力尽くの侵略が始まるとは驚きを禁じえませぬ。以後日々悲惨な戦闘と避難の状況が報道されています。蘆花会の皆さまには、ことのほか心を痛めておられるのではないのでしょうか。

ロシアと言えば、1991年4月18日に当時のゴルバチョフ大統領がトルストイの言葉で国会演説を結んだことが思い出されます。それは領土問題に関して日露双方の国民への訴えでした。トルストイは聖書による信仰に基づき反戦平和主義を強く唱えました。彼の思想に共鳴し傾倒したのが徳富

蘆花です。今や残念ながら一般には忘れられた観のある蘆花文学ですが、国際紛争の絶えない今日こそ蘆花の思想信条があらためて想起されるべきでしょう。

蘆花は日露戦争講和の翌年1906年12月の青山学院での「眼を開け」と題する講演に続き、第一高等学校



の弁論部集會で「勝かちの哀かなしみ」と題して講演しました。これは後に「勝利の悲哀」として文章化されています。

そこでは、蘆花がモスクワで見た絵の中のナポレオンから始めて日露戦争で殉死した参謀総長児玉源太郎に及んだのち、「ここに悲哀あり」と説きます。結局「敗北

も悲哀なり。勝利も悲哀なり」です。ウクライナでの戦争も例外ではありません。侵攻を始めたロシアの現職大統領には思いも及ばぬ境地でしょう。彼の祖国ロシアの文学や文化が惜しまれてなりません。

来たる蘆花忌の集いでは相模女子大学名誉教授の高橋広満氏の講演を企画しました。氏は折口信夫おりぐちしのぶを研究するかたわら広く日本近代文学の研究を進めて来られました。今度こそ例年通りの開催ができることを期待しています。(佐久間保明)

蘆花会公式 Facebook
にて情報発信中
いいね！とフォローを
お願いします。



二〇二二年度の事業計画

1、イベント

- ① 蘆花忌(没後九五年)
 - ・ 九月十七日(土)
 - 午後一時～三時
 - ・ 詳細は同封のチラシをご覧ください。
- ② 愛子忌(没後七六年)
 - ・ 二月十八日(土)
 - 午後一時～二時
 - ・ オンラインも検討中。
 - ・ 内容は未定。



2021年度愛子忌(オンライン開催)

2、蘆花記念館の運営

〈整理・展示など〉協力に

関するもの

- ① 展示
 - ・ 年二回程度展示替え予定
- ② ボランティアガイド
 - ・ 恒春園来園者への啓蒙活動として、毎月(七月・八月を除く)第二日曜日午後二時より、記念館及び恒春園内を約40分ガイド実施。事前予約のある場合同様のガイド対応。
 - ・ ガイド育成に努める。
- ③ 第29・30回蘆花文学セミナー開催
 - (恒春園サービスセンター)



蘆花記念館

- ・ 主催。五月～九月、十月～三月各月第二週土曜日午後二時～四時)
- ・ 没後九五年の節目に改めて『みみずのたはこと』を読む。
- ・ 蘆花がなぜ縁もゆかりもない粕谷に転居し、そこが終の棲家となっていたかを、作品を通して学ぶ。
- ・ 場所：蘆花恒春園内愛子夫人居宅とオンライン。
- ・ 講師：布川純子(蘆花会事務局長。神奈川工科大学・成蹊大学非常勤講師。熊本県立大学客員研究員、日本近代文学研究者)
- ④ 収蔵庫保管の愛子書簡に関する整理
 - ・ 愛子書簡未整理部分のリスト化を今年度も継続して行う。
- ⑤ 記念館準備室の蔵書・文献整理
 - ・ 故浅原丈平氏、故吉田正信氏両蘆花会会長より寄贈された蔵書・文献資料の整理をし、研究者や愛好者に広く利用してもらえるように整理。
- ⑥ レファレンス対応
 - ・ 記念館所蔵資料への問い合わせ並びに蘆花関係の問い合わせに対し協力。
- ⑦ その他
 - ・ 記念館並びに蘆花旧宅の遺品等に関する内容への公益財団東京都公園協会への働きかけ。

事務局より

【正会員・賛助会員募集】

会員特典 各種催事ご案内・会報の送付

入会費 正会員 1,000円・賛助会員 500円

年会費 正会員 1,000円・賛助会員 500円

振込先 三菱UFJ銀行 王子駅前支店

口座名 特定非営利活動法人蘆花会

口座番号 普通0274264

編集より

・ 会報への寄稿お待ちしております